

アスリートと考える 平和への一歩

終戦80年 来年2月26日に枚方でフォーラム

◎添付資料:チラシ

市は終戦 80 年を迎える来年、2月 26 日(水)に「ひらかた平和フォーラム」を市総合文化芸術センター関西医大 大ホール(枚方市駅北口徒歩約5分)で開催する。

テーマは「スポーツは世界をつなぐ」で、枚方を本拠に活躍する男子バレーボールクラブ「大阪ブルテオン」との協働による企画。同チーム所属の清水邦広さん・仲本賢優さん・山内晶大さん・山本智大さんや元競泳日本代表で途上国教育専門家の井本直歩子さんらアスリートを迎え、クイズや講演、トークセッションなどを通して、一人一人が踏み出せる「平和への一歩」について考える。トークセッションでは市内で平和イベントを企画する大学生も加わり、若者が捉える平和の視点についても語り合うほか、市立小中学生による平和学習の発表もある。

時間は午後4時～6時。参加無料。要申し込み(1月9日から)で先着 800 人。

★枚方市は長年にわたり平和施策に力を入れている。昭和 57 年(1982 年)に大阪府内で初めてとなる「非核平和都市」を宣言。全国の宣言自治体で構成する「日本非核宣言自治体協議会」(会長市:長崎市)の副会長市を務めている。8月に行われる広島と長崎の平和祈念式典にも毎年参加し、長崎では市民が折った千羽鶴を平和公園に奉納している。市立小学校では平和学習の一環として6年生の修学旅行で毎年、広島を訪問している。

★平成元年(1989 年)には、3月1日を「枚方市平和の日」に制定した。昭和 14 年(1939 年)の同日、当時枚方にあった旧陸軍施設の禁野(きんや)火薬庫が大爆発を起こし、死者 94 人・負傷者 602 人・家屋の全半壊 821 戸・被災 4425 世帯という大惨事となったことから、悲惨な歴史を戦争の記憶として後世に継承していくことを目的に爆発から 50 年を記念して独自に制定したもの。3月1日は昭和 29 年(1954 年)に太平洋ビキニ環礁での水爆実験によって漁船の第五福竜丸が被爆した日でもあり、制定はこれにも因んでいる。

★ひらかた平和フォーラムは、枚方市平和の日に合わせて毎年実施している平和事業の一つ。小中学生による平和学習の発表とゲストによる講演という2部構成で、前回(令和6年)は文学研究者でウクライナの詩人による文芸ドキュメントを翻訳したロバート・キャンベルさんが「戦争は言葉を変えてゆく」をテーマに、前々回(令和5年)は俳優で「非戦を選ぶ演劇人の会」に所属する渡辺えりさんが「夢見る力～平和を創る」をテーマにそれぞれ講演。いずれも好評を博した。

- ★今回のフォーラムは終戦 80 年という大きな節目の年に開催する。世界各地で起こっている戦争や紛争が収束を見せない中、平和についてもっと幅広い世代が自分ごととして身近に捉えることができる機会とするため、多くの人にとって身近な存在である「スポーツ」をキーワードに、日本や世界で活躍するアスリートを招いて一人一人にできる「平和への一歩」について出演者や会場の参加者と一緒に考える場(フォーラム)とすることとした。
- ★枚方を本拠地とする「大阪ブルテオン」からは、清水邦広(しみず・くにひろ)さん、仲本賢優(なかもと・けんゆう)さん、山内晶大(やまうち・あきひろ)さん、山本智大(やまもと・ともひろ)さんの4選手が出演する。第1部で、枚方に残る戦争遺跡などに関するクイズに挑戦し、本拠地・枚方の歴史について来場者と一緒に学ぶ。会場で流すクイズの出題動画にもブルテオンの選手が登場する(当日出演する選手は変更になる可能性あり)。
- ★大阪ブルテオンは、ひらかたパークにほど近いパナソニックアリーナ(菊丘南町2)が本拠地の創立 70 年を超える男子バレーボールクラブ。日本を代表する強豪として知られ、今シーズンから始まったSV LEAGUE では現在2位(12 月 19 日現在)。試合には全国から多くのファンが訪れる。小・中学校や保育所でのバレーボール教室、ふるさと納税返礼品への協力など地域貢献にも積極的で、平成 29 年(2017 年)からは枚方市PR大使も務めている。
- ★第2部の講演では、途上国教育専門家として活動する元競泳日本代表の井本直歩子(いもと・なおこ)さんを迎える。井本さんは現役時代から途上国支援に関心を持ち、引退後に英マンチェスター大学大学院で修士号(貧困・紛争・復興)を取得。平成 15 年(2003 年)から国際協力機構(JICA)、国連児童基金(ユニセフ)のスタッフとしてシエラレオネ、ルワンダ、スリランカ、ハイチ、マリなどで平和構築・教育支援に従事。
- ★井本さんは代表を務める一般社団法人「SDGs in Sports」で「アスリートが社会課題解決のためのリーダーに」をビジョンとして気候変動や多様性・ジェンダー平等に取り組むほか、スポーツ界から使い捨てプラごみの削減を目指すプロジェクト「ヒーローズブレッジ」にも参画している。
- ★講演のテーマは「地球村の住民として」。世界の紛争地域で活動を続けてきた井本さんが、これまでの経験や「平和のつながり」について語る。井本さんは中学生の時、海外遠征先で同じレースをする途上国の選手たちとの差に気づいたという。「私たちは水着やジャージをたくさん支給されているのにゴーグルさえない選手。レース前に食堂で、栄養を気にせずお菓子をたくさん食べて喜んでいる途上国の選手たちを見ました。紛争をしている国から出場している選手たちを見て、どんな環境でトレーニングをしてきたのだろうと思っていました。そしていつからか、競技引退後の将来は、恵まれない国の人々のために働きたいと思うようになりました」(SDGs in Sports ホームページより)と振り返っている。
- ★講演の後のトークセッションでは大阪ブルテオン4選手と井本さん、3月1日に開催する平和イベント「枚方市平和の燈火(あかり)」実行委員の大学生も加わり、戦争ではいつも子どもが犠牲になること、世界を知ること、スポーツが平和のためにできることについて、それぞれの経験や

思い、考え方などを述べるほか、気候変動や環境問題、災害といった平和の多義的な視点についても考える。井本さんは「戦争はもちろん、さまざまな社会問題も根本は同じで平和を考えることにつながる。大切なのは問題意識を持ち批判的に見ること。世界の出来事を身近に感じて、自分にできることは何かを考えるきっかけになれば」と話す。

★小中学生の平和学習発表は、第1部の冒頭に開成小学校と田口山小学校の6年生による広島への修学旅行で行われた平和学習の様子を動画上映する。大ホールロビーでは津田中学校の生徒が制作した平和新聞を展示する。

★申し込みは1月9日(木)午前9時から市ホームページにある専用フォームから。先着800人に入場整理券(全席指定)を送付。インターネット環境のない場合は市人権政策課へ電話申し込み可。手話通訳・要約筆記・保育(生後6カ月以上の未就学児で先着5人)が必要な場合は、2月12日までに要申し込み。

★その他、平和の日記念事業の一環として、2月21日(金)～3月6日(木)に男女共生フロア・ウィル(枚方市駅東改札前ステーションヒル枚方6階)で、「禁野火薬庫大爆発パネル展」を実施。昭和14年の爆発当時の様子を記録した写真パネルを展示する。平日午前9時～午後5時30分。無料。(土日閉庁)

<お問い合わせ>

市長公室 人権政策課 ☎072-841-1259、FAX072-841-1700

ひらかた平和フォーラム

スポーツは 世界をつなぐ

2025年(令和7年)

2月26日(水) 午後4時～6時
(開場:午後3時30分)

枚方市総合文化芸術センター
関西医大 大ホール(枚方市駅北口徒歩約5分)

先着800名・要予約・入場無料

第1部 (午後4時～5時)

●平和学習の発表

枚方市の小学校では修学旅行で広島へ行き、平和への思いを学んでいます。今年は開成小と田口山小6年生が動画で発表。大ホールロビーでは津田中学校生徒が制作した平和新聞を展示。

●平和クイズに挑戦

かつて軍需のまちだった枚方市。今も残る戦争の爪跡に関するクイズに大阪ブルテオンの選手と来場者全員で挑戦します。

第2部 (午後5時～6時)

●井本直歩子さん講演「地球村の住民として」

世界各地の紛争地域で活動されてきた井本さんが、これまでの経験や、「平和とのつながり」についてお話しします。

●トークセッション「スポーツは世界をつなぐ」

スポーツが社会にもたらす力、そして私たち一人ひとりができる平和への活動について、大阪ブルテオンの選手と井本さん、「枚方市平和の燈火」実行委員の大学生が語り合います。



バレーボールクラブ 大阪ブルテオン
左上から、清水邦広 選手、仲本賢優 選手、
山内晶大 選手、山本智大 選手



井本 直歩子さん

アトランタオリンピック競泳日本代表。
2003年からJICA、ユニセフのスタッフ
として途上国の平和構築・教育支援に
従事。21年、東京オリパラ組織委員会
ジェンダー平等推進チームアドバイザー。
一般社団法人SDGs in Sports 代表。

私たちにできる平和への一歩 一緒に考えてみませんか

2025年で終戦から80年を迎えます。戦争を知らない世代が増え、「昔のこと」だと思われがちですが、今も世界の各地で戦争は起こり、子ども達が犠牲になっています。今年度の平和フォーラムは「スポーツ」をテーマに、枚方から平和への願いを発信します。

申込
問合せ

1月9日(木)午前9時から右記コード・市ホームページにある専用フォームで申し込み。インターネット環境がない方等は電話申し込み可。先着800人に入場整理券(全席指定)を送付します。手話通訳・要約筆記・保育(生後6カ月以上の未就学児で先着5人)は2月12日までに要申し込み。

枚方市人権政策課 電話: 072-841-1259 FAX: 072-841-1700



申し込み専用フォーム

主催: 枚方市・枚方市教育委員会

※ 当日出演する大阪ブルテオンの選手は変更になる可能性があります。予めご了承ください。

枚方市は、禁野火薬庫が大爆発した日から50年後、そして1954(昭和29)年に第五福竜丸がビキニ環礁での水爆実験で被ばくした日から35年後の1989(平成元)年、3月1日を「枚方市平和の日」に制定しました。市民一人ひとりが平和の大切さを考える日として、毎年、平和の日記念事業を開催しています。



平和の日記念事業
ホームページ

禁野火薬庫大爆発 パネル展

ステーションヒル枚方 6階
男女共生フロア・ウィル
(枚方市駅東改札口東側)

2月21日(金)～3月6日(木)
午前9時～午後5時30分(土・日曜は閉庁)

禁野火薬庫は終戦まで枚方にあった旧陸軍の施設。昭和14年の爆発当時の状況など貴重な記録写真のパネルを展示します。無料。



火薬庫内部の様子
(武沢惣次郎氏提供)

あかり 平和の燈火

ニッペパーク岡東中央
(枚方市駅南口徒歩約3分)

3月1日(土) ※雨天の場合、翌日
キャンドル点灯 午後5時30分～7時30分

平和の願いを込め、約3000個のキャンドルを来場者の皆さんと一緒に灯します。日中は、実行委員の大学生による企画も。無料。

戦争の悲惨さ、
平和の尊さを
忘れないため
に。

3月1日は、
枚方市平和の日

昭和14年3月1日 午後2時45分 禁野火薬庫大爆発

砲弾解体作業中に発火、大爆発が起こり、午後7時までに29回の爆発を繰り返しました。火災がおさまったのは爆発から2日後の3月3日正午。死者94人、負傷者602人、全半壊した家屋821戸におよぶ大惨事となりました。



爆発後の火薬庫一帯
(橋寺七郎氏撮影)

平和の鐘「ヒラリヨン」

